

神戸市不育症治療支援事業受診等証明書

下記の者については、流産（生化学的流産を除く。）、死産又は早期新生児死亡の既往が2回以上あることから、不育症の検査及び治療を行いました。つきましては、保険適用外の医療費を下記のとおり領収したことを証明します。

令和 年 月 日

医療機関の名称及び所在地

主治医氏名

印

医療機関記入欄（主治医が記入すること）

(ふりがな) 受診者氏名	()	生年 月日	昭和 平成	年	月	日 (歳)
今回の治療期間(※1)	令和 年 月 日	～	令和 年 月 日			
領収金額合計 (※2)	¥ _____ 円 (※3の合計と一致すること)					

※1：治療期間については、当該年度の4月1日から、当該年度末の3月末までを対象とします。左記期間内の治療期間を記載してください。治療が終了していなくてもかまいません。

※2：領収金額の一致する治療期間内の領収書を別途添付して下さい。
院外処方等で、別途費用が発生する場合は、薬局において「不育症治療支援事業受診等証明書（薬局用）」を作成することとなりますので、当該費用の記載は不用です。

【医療保険を適用せずに実施した検査及び治療】

区分	項目	実施の有無	金額
(A) 一次スクリーニング	抗リン脂質抗体	抗カルジオリピンβ2グルコプロテインI複合体抗体	
		抗カルジオリピンIgG抗体	
		抗カルジオリピンIgM抗体	
		ループスアンチコアグラント	
	夫婦染色体検査		
(A) 選択的検査	抗リン脂質抗体	抗PEI gG抗体 (抗フォスファチジルエタノールアミン抗体)	
		抗PEI gM抗体 (抗フォスファチジルエタノールアミン抗体)	
		抗PS/PT抗体 (フォスファチジルセリン依存性抗プロトロンビン抗体)	
	血栓性素因スクリーニング (凝固因子検査)	第XII因子活性	
		プロテインS活性又はプロテインS抗原	
プロテインC活性又はプロテインC抗原			
	APTT (活性化部分トロンボプラスチン時間)		
(B) 治療	低用量アスピリン療法		
	ヘパリン療法 (ヘパリン在宅自己注射)		
	※ヘパリノイド (ダナパロイドナトリウム) によるものを含む。		

※区分(A)と区分(B)で助成割合が異なりますので申請時ご注意ください。

合計金額 (※3)

--